



スーパー グローバル ハイスクール

佐高 *SGH*通信 2018

No. 10 (平成30年6月22日)

中3数理探究(数学分野)

「とちぎの和算の世界～佐野にある日本最古の算額～」見学

2018年4月18日(土)から6月17日(日)に佐野市郷土博物館で行われている第67回企画展「とちぎの和算の世界～佐野にある日本最古の算額～」の中3生が見学に行ってきました。今回の見学は、附属中学校の学校設定科目「数理探究(数学分野)」の授業の一環として行ったものです。学級ごとに2時間続きの授業時間を使って3-1は6月7日(木)、3-2は6/8(金)、3-3は5/23(水)に実施しました。

佐野市大蔵町にある星宮神社には天和3年(1683)に奉納された日本最古の算額があります。算額とは数学の問題と答えの解法を絵馬にして神社に奉納したもので、多くの人目にとまることから当時の研究発表の場でもあったそうです。生徒達は日本最古の算額が佐野にあることを知って感動し、栃木県内に残る算額を通して江戸時代に日本で発展した数学である和算の学問的水準の高さに驚いた様子でした。「和算の問題にチャレンジ」コーナーでは小学生向けの問題の答えを言い合ったり、中学生向けの問題に挑戦したりする生徒も見られ、先人が残してくれた貴重な文化遺産である「和算」「算額」を堪能した様子でした。

郷土博物館の帰りには佐高のすぐ南にある「星宮神社」に寄って帰途につきました。



「星宮神社」ここに日本最古の算額があった

中3-1 岡部 豪太さん

和算が栃木県、そして佐野でも盛んだったことを初めて知りました。日本最古の算額が星宮神社という佐野高校のすぐそばにあったことも意外でした。日本の数学は「そろばん」程度だと思っていましたが、ここまでレベルの高い数学が江戸時代に日本全域へと広がっていたことに驚きました。何問か挑戦しましたが、難しかったです。

中3-2 黒尾 文音さん

日本で最古の算額を見ることができ、驚きました。和算は一種の趣味や道楽として好まれていたと知り、勉強を楽しむことができた昔の人はすごいなと思いました。どのように、西洋の影響を受けずに和算が発達したのか不思議に思いました。今また和算が注目されていると知り、詳しく調べてみたいと思いました。

中3-2 相田 紘夏さん

佐野に貴重な算額があることを知りすごいと思いました。趣味の世界が数学の発展につながっているのがすごいと思いました。数学の深い歴史を知ることができ、とても良かったです。

中3-1 落合 侑亮さん

僕は古く昔から高度な計算技術があることに驚きました。いろいろな道具を活用している点も面白いと思いました。算額には図形の問題がとても多いと感じました。日本独自の単位だったり「甲」「乙」「丙」など今で言う「x」「y」のようなものであり、面白いと感じました。算額の問題はどれも難易度が高く解くのは容易ではありません。この問題を作って解いた日本人がいることが素晴らしいと思いました。